

令和二年度 京都府公立高等学校入学者選抜
中期選抜学力検査

検査 1

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の**答の欄**に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 **字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。**
- 9 答えの書き方について、次の**解答例**を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**答の番号【1】**

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………**答の番号【2】**
 (ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 奇数を、次の(ア)～(オ)からすべて選べ。……………**答の番号【3】**

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
 (エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号
(2)	(1)		番号
【3】	【2】	【1】	答の欄
ア イ ウ エ オ	ア イ ウ	水 曜日	
【3】	【2】	【1】	採点欄

検査					
1					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

次の文章は、「浮世物語」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)～(5)に答えよ。(12点)

唐土^a 梁の帝^b、獬^cに出で給ふ。白き鴈^dありて田の中に下りゐたり。帝みづから弓に矢をばげ、これを射んとし給ふに、道行き人ありて、是を知らず白鴈を追ひたて侍^eべり。帝大いに怒りて、その人をとらへて殺さんとし給ふ所に、公孫龍^fといふ臣下、いさめていはく、むかし衛の文公の時、天下大いに日照りする事三年なり。これを占はせらるるに、曰く、一人を殺して天にまつらば雨ふるべしと。文公の曰く、雨を求むるも民のため也。今これ人を殺しなば、不仁の行いよいよ天の怒りを受けん。この上は、われ死して天にまつらん、とのたまふ。その心ざし天理にかなひ、たちまちに雨ふりて、五穀ゆたかに民さかへたり。今、君この白鴈を重んじて人を殺し給はば、これまことに虎狼のたぐひにあらずや」と申しければ、帝大いに感じて、公孫龍をたうとみ給ひけり。

〔新編日本古典文学全集〕による

注

- *唐土：昔、日本が中国のことを指して呼んだ名称。
- *鴈：カモ科の水鳥。
- *公孫龍：梁の帝の家臣。
- *まつらば：差し上げるならば。
- *天理：天の道理。
- *さかへたり：栄えた。
- *たうとみ給ひけり：尊び重んじなされた。
- *梁：国名。
- *弓に矢をばげ：矢を弓の弦にかけ。
- *衛：国名。
- *文公：衛の君主。
- *まつらん：差し上げよう。
- *五穀：五種の主要な穀物。また、穀物の総称。
- *虎狼：トラとオオカミ。冷酷無情なものたとえ。

(1) 本文中の「下りゐたり」・「たぐひ」は歴史的仮名遣いで書かれている。これらの平仮名の部分をすべて現代仮名遣いに直して、それぞれ平仮名で書け。

(2) 本文中の「大いに怒りて」の理由を述べた文として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 道を通った人が、鴈を射ようとしている人物が梁の帝であることを知らずに、梁の帝を追いたてて道を譲らせようとしたから。
- (イ) 田んぼの中の鴈を梁の帝が射ようとしていることを知らなかった通りすがりの人が、その鴈を追いたてたから。
- (ウ) 梁の帝が自ら弓を取り、鴈を射ようとしていたときに、射るのを邪魔しようとして鴈を追いたてた人がいたから。
- (エ) 鴈を誰かが射ないように梁の帝は見張っていたが、道行く人に気づかなかった結果、その人に鴈を追いたてられたから。

(3) 本文中の「重んじて」の主語である人物として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 衛の文公
- (イ) 公孫龍
- (ウ) 道行き人
- (エ) 梁の帝

(4) 本文からは、本文中の「」に対応して初めを示すかき括弧「(」が抜けている。このかき括弧「(」が入る箇所の、直後の三字を本文中から抜き出して書け。

(5) 次の会話文は、舞子さんと良平さんが本文を学習した後、本文について話したものの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

舞子 文公は日照りの対策を占わせたんだね。占いの結果を受けて、文公はどのように考えたのだったかな。

良平 文公は、占いで人を一人犠牲にするよう告げられたけれど、その一人を自分以外の人とした場合、これは「A」であり、事態をますます悪化させ、「B」にはならないと考えた、ということが本文から読み取れるよ。

舞子 そうだね。占いはそもそも「B」にしたことだったわけだからね。本文を読むと、文公の「C」が天を動かした、ということがわかるね。

① 会話文中の「A」・「B」に入る最も適当な表現を、本文中からそれぞれ四字で抜き出して書け。

② 会話文中の「C」に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 自分の思いに固執せず、臣下の忠告に耳を貸しそれを素直に受け入れて考えを改めるといふ謙虚な態度
- (イ) 自身が天の怒りを受けることを恐れず、穀物が豊かに実って民が栄えるよう、占いを行った勇氣
- (ウ) 与えられた方策をそのまま採用せず、目的に照らし合わせてその方策の是非を考え、民を重んじる判断をした姿勢
- (エ) 自身が帝に罰せられることを顧みず、激怒する帝に向かって帝の行動を改めさせようとした覚悟

【裏へつづく】

二 次の文章は、「貨幣」について書かれたものの一節である。これを読み、問い

(1) (11)に答えよ。(28点)

(1) (1) (5)は、各段落の番号を示したものである。

1 まずは私たちが日常的に使っている貨幣から考えてみよう。私たちはそれらでパンや珈琲を買う。これを言いなせば、私たちは自分でパンや珈琲をつくるのではなく、各々の技能に応じてモノやサービスを生産し、その見返りとして貨幣をもらい、その貨幣と交換で他人がつくったパンや珈琲を手に入れるということである。つまりモノとモノとを、貨幣を介して間接的に交換しているわけだ。

2 a ここでは貨幣があいだに入ることが決定的に重要である。へ1もし貨幣がなかったらと想像してみよう。人類学者である私はお腹が減ったら、ラーメン屋で「人類学の本と交換にラーメンを食べさせてくれ」と頼まねばならない。もちろん断られるだろう。虫歯が痛むラーメン屋は歯科医院に行つて、ラーメンと引き換えに歯を治療してくれと頼むが、歯医者には昼に食べたばかりだからと断るかもしれない。私だって歯医者に「歯を削つてやるから本をくれ」と頼まれても困る。物々交換が成立するには「2人の人間が互いに相手の欲しい物をもっているという希な偶然、すなわち欲求の二重の一致」が必要だが、片思いが両思いに成就するのは容易ではない。へ2だから、あいだに入る「交換媒介」としての貨幣が重要なのである。

3 多くの論者が貨幣の発生について論じる際に、この媒介機能の重要性に言及してきた。*アダム・スミスは、「欲望の二重の一致という」「不便を避けるために、分業が確立した後、どの時代にも賢明な人はみな、自分の仕事で生産したものを以外に、他人が各自の生産物と交換するのを断らないと思える商品がある程度持つておく方法をとった」と論じている。たとえば日本では米などが、この「他人が断らない商品」にあたる。主食である米は、みながそれなりにもっているのが、当座の交換の見返りとして一番欲しいものではない。へ3だが、それでも歯医者やラーメン屋が米をもって来たら、受けとって治療するだろう。なぜなら米はラーメンと違って保存が効くので、いつか食べられるからだ。歯医者が米を受けとる理由として、保存が効くこと以上に大きいのは、米ならきつと人類学者も受けとるだろうという期待である。じっさいに人類学者は米を受けとるだろう。なぜなら、本を読まないラーメン屋も米なら受けとると期待するからである。こうして米は必ずしも各人の一番欲しいモノではないが、他人もきつと受けとるといふ期待から、交換を断られない商品、すなわち交換媒介の貨幣として機能するよ

うになる。へ4

4 このように物々交換のあいだに入る媒介物としての人気商品に貨幣の起源を見るのが「貨幣商品起源説」である。もちろん過去にさかのぼって貨幣が発生する瞬間を確認できるわけではないので、これは仮説にすぎない。物々交換のなかから、特定の商品が貨幣の役割を果たすようになったという報告は数多くある。たとえば経済学者であるリチャード・A・ラドフォードは、自身が第二次世界大戦中に捕虜として囚われていたシウウ容所で、パンや缶詰などの物々交換のなかからタバコが貨幣として用いられるようになった事例を報告している。

5 現在、私たちが使っている貨幣はこの「交換媒介」機能を中心として、価値を将来にもち越す「価値保存」、あらゆるモノの価値をあらわす「価値基準」という三つの機能を果たすものとされる。米やタバコなどの商品貨幣はこの三つの機能を果たすものの、まだ不完全である。たとえば米はラーメンよりは保存が効くが、時間がたてば品質が落ちる。そうなるのと交換を断られてしまうと、価値基準としても不安定である。貨幣のはじまりはこのような不完全な商品だったが、その後、時代が下るにつれて三つの機能をより完全に果たすモノに変わっていった。米や麦からより耐久性の高い貝や石へ、さらに貴金属へ、それを均質的に加工した硬貨へ、そして紙幣へ。容易に持ち運べ、劣化せず、一〇〇円のジュースから一〇億円の戦闘機まであらゆるものの価値をあらわせる貨幣へと完成度を高めていったのである。人間を交換する生きものにとらえるならば、貨幣は人間の交換生活と歩調をあわせて進化してきたといえるかもしれない。

(深田淳太郎「文化人類学の思考法」による……一部省略がある)

注

*「2人の間の一致」：アメリカの経済学者グレゴリー・マンキューが論じた内容。

*アダム・スミス：イギリスの経済学者。

*欲望の二重の一致：2段落の「欲求の二重の一致」と同意。

*当座：その場ですぐ。

(1) 本文中の a が示す内容として最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。 答の番号【7】

- (ア) 自分が生産したモノを差し出す見返りとして貨幣を手に入れる場面。
- (イ) 貨幣を使用してモノを買うことで、間接的に相手の貨幣を受け取る場面。
- (ウ) 各個人の能力や技術によってつくり出されたモノがやりとりされる場面。
- (エ) 生活に必要で誰もが求めるモノを、貨幣を用いることで入手する場面。

(2) 本文からは次の一文が抜けている。この一文は本文中の〈1〉〜〈4〉のどこに入るか、最も適当な箇所を示す番号を一つ選べ。……………答の番号【8】
なぜならモノどうしの直接交換は難しいからだ。

(3) 本文中の ^b もちろん断られるだろう は、どのような品詞の語で組み立てられているか、用いられている単語の品詞を、次の (ア)〜(オ) からすべて選べ。……………答の番号【9】

(ア) 動詞 (イ) 副詞 (ウ) 連体詞 (エ) 助動詞 (オ) 助詞

(4) 次の文章は、本文中の ^c 貨幣の発生 に関して述べたものである。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

貨幣は、^a に発生したと考えられる。この「貨幣商品起源説」が広く説得力を持つのは、ある種の商品が、^b と人々にとらえられて商品貨幣となり、実際に多くの場面で機能していたという報告があるからである。

① 文章中の ^a に入る最も適当な表現を、次の (ア)〜(エ) から一つ選べ。……………答の番号【10】

(ア) 交換を行う者どうしのあいだで欲求の二重の一致が成立することによって、交換媒介となるモノの必要性が生じたため

(イ) 相手が求めるモノとなるように、自分の持っているモノの価値をより高める働きをもつ存在が求められたため

(ウ) 物々交換のあいだに入る媒介物が生まれたことで、自身が生産したモノの価値を保存する必要性が生じたため

(エ) 互いの欲求を満たすためにモノを交換する際、互いが求めるモノの価値の代用となって働く存在が求められたため

② 文章中の ^b に入る最も適当な表現を、本文中から二十八字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………答の番号【11】

(5) 本文中の ^d 言及 の読みを平仮名で書け。……………答の番号【12】

(6) 本文中の ^e 確立した の意味として最も適当なものを、下段の I 群 (ア)〜(エ) から一つ選べ。また、本文中の ^h 均質 の意味として最も適当なものを、下段の II 群 (カ)〜(ケ) から一つ選べ。……………答の番号【13】

I 群 (ア) 不動のものとなった (イ) 可能性をみせた
(ウ) 成功した (エ) 軌道に乗った

II 群 (カ) 一つの形にまとまっている
(キ) 形状が薄く平らである
(ク) 成分や密度、性質が一定である
(ケ) 高い品質を保っている

(7) 本文中の ^f には、 の前に述べられていることと、後に述べられていることとの間で、どのような働きをする語が入るか。最も適当なものを、次の I 群 (ア)〜(エ) から一つ選べ。また、本文中の に入る語として最も適当なものを、後の II 群 (カ)〜(ケ) から一つ選べ。……………答の番号【14】

I 群 (ア) 前に述べられていることと、後に述べられていることが並列であることを表す働き。
(イ) 前に述べられていることが、後に述べられていることの原因であることを表す働き。

(ウ) 後に述べられていることが、前に述べられていることの説明やまとめであることを表す働き。
(エ) 後に述べられていることが、前に述べられていることとは逆の内容であることを表す働き。

II 群 (カ) だから (キ) だが (ク) つまり (ケ) 同様に

(8) 本文中の ^f 報告 の熟語の構成を説明したものととして最も適当なものを、次の I 群 (ア)〜(エ) から一つ選べ。また、^f 報告 と同じ構成の熟語を、後の II 群 (カ)〜(ケ) から一つ選べ。……………答の番号【15】

I 群 (ア) 上の漢字が下の漢字を修飾している。
(イ) 上の漢字と下の漢字の意味が対になっている。
(ウ) 上の漢字と下の漢字が似た意味を持っている。
(エ) 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係になっている。

II 群 (カ) 添付 (キ) 脇道 (ク) 日没 (ケ) 緩急

(9) 本文中の シュウ容 の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。

答の番号【16】

(10) 本文の段落構成を説明した文として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

答の番号【17】

(ア) 2 段落では、1 段落の内容と対照的な状況について具体例を使って示すことで、1 段落の趣旨を否定している。

(イ) 3 段落では、2 段落で用いた例を発展させることで、「貨幣商品起源説」について説明している。

(ウ) 4 段落では、3 段落で述べた内容と異なる論点で根拠を示すことで、貨幣の誕生を説明している。

(エ) 5 段落では、3・4 段落で述べたことを用いて、一般論と自説を比較している。

(11) 創太さんと芽依さんのクラスでは、本文を学習した後、本文の内容についてポスターセッションをすることになった。次の会話文は、創太さんと芽依さんが本文について話し合ったものの一節である。これを読み、下段の問い①～③に答えよ。

創太 完成度の高い貨幣ってどのようなものだったかな。

芽依 本文の内容から完成度の高い貨幣とは、交換手段としての働きと、**X** を高い水準で備えているものことだと読み取れるね。本文には、現在の貨幣が昔の貨幣と比べて、完成度が高いということが書かれていたね。

創太 そうだったね。本文最後の一文に書かれていた、「人間を交換する生きもの」とらえるならば、貨幣は人間の交換生活と歩調をあわせて進化してきた」とはどういうことだったかな。

芽依 その本文最後の一文を、別の表現にすると、**Y** ということだと本文からわかるね。貨幣について調べてみると、アダム・スミスが、人間は物々交換し、取引する性向を備えていることを指摘していたよ。

創太 なるほど。じゃあ、本文の内容を踏まえてポスターセッションの主題は「交換生活と人」にするのはいかがかな。

芽依 それはいいね。ポスターの本文は縦書きにしようかな。² 縦書きを読みやすく書くための要点を教科書で復習しておくね。

① 会話文中の **X** に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 持続性と指標的な作用 (イ) 一過性と客観的な作用
- (ウ) 永遠性と創造的な側面 (エ) 規則性と短期的な側面

答の番号【18】

② 会話文中の **Y** に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 人間が交換する生きものとして段階的に発展してきたことにより、貨幣は価値なものから高価なものまで価値を示すことができるようになった
- (イ) 貨幣が人間を交換する生きものとなるように変化させたことで、硬貨や紙幣が生まれ、人間の社会生活が豊かで安定したものになった
- (ウ) 交換することは人間の特性であると考えられ、交換媒介は、社会の進歩に伴い、姿を変化させ、その働きを充実させ、硬貨や紙幣へ発展してきた
- (エ) 人間は交換するだけの生きものではないので、人間の生活の発展と、貨幣が交換するものとして進化してきたことは、根幹の部分では関連がない

答の番号【19】

③ ポスターセッション に向けてポスターを作成する際の一般的な注意点として **適当でないもの** を、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、² 縦書きを読みやすく書く 際の一般的な注意点として **適当でないもの** を、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。

答の番号【20】

I 群 (ア) 見る側の興味をひくキャッチコピーをつける。

(イ) 用紙の上下左右に余白を設けない。

(ウ) 題名の部分は見出しよりも目立たせて書く。

(エ) 具体的な内容に関する情報の掲載は最小限にする。

II 群 (カ) 字間と行間をそれぞれそろえて書く。

(キ) 用紙に合った文字の大きさを書く。

(ク) 文字の中心を行の中心にそろえて文字を書く。

(ケ) 平仮名は漢字より大きく書く。

